

第3章 環境達成目標と施策の実施状況

1 基本目標① きれいな空気 おいしい水 心安らぐ 環境のまちづくり

(1) 環境達成目標

① 光化学オキシダントの注意報発令回数0を目指します。

伊東地区の注意報発令回数

(単位：回)

光化学オキシダントの注意報発令回数					
年 度	20	21	22	23	24
発令回数	1	1	2	0	0

(調査期間：平成20年度から平成24年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

平成24年度は平成23年度に引き続き光化学オキシダントの注意報が発令されることなく、良好な大気環境を保つことができました。

市内に大規模のばい煙発生施設がないことから、気象条件によりますが、今後も良好な状況で推移していくと予想されます。

② 窒素酸化物の環境基準達成維持を目指します。

伊東市の二酸化窒素の測定結果

(単位：ppm)

二酸化窒素の測定結果					
年 度	20	21	22	23	24
二酸化窒素	0.026	0.023	0.022	0.020	0.019

(調査期間：平成20年度から平成24年度までの統計を記入)

※二酸化窒素の基準値は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

数値増減の状況等

平成20年度からの5年間はいずれも環境基準を下回っており、良好な大気環境が保たれました。今後も良好な状況で推移していくと予想されます。

③ 伊東大川下流の環境基準 A (BOD 2 mg/l以下) の早期達成・維持を目指します。

伊東大川下流の BOD 測定値 (75%値) (単位: mg /l)

地名点	年 度				
	20	21	22	23	24
伊東大川渚橋	1.7	1.6	1.3	1.5	1.4

(調査期間: 平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

※ 伊東大川下流の国の環境目標は、環境基準 B (75%値で 3mg /l以下) となっています。

数値増減の状況等

伊東大川の下流域の下水道が普及したことにより、渚橋附近の水質は良質な状況が維持されています。

荻・十足特定環境保全下水道の供用開始から 4 年が経過し、供用区域における下水道接続戸数が増加したことも、大川の水質の向上につながっています。

④ 下水道整備面積 (平成 13 年度 402ha) の拡充を図り、認可計画区域内の早期の整備を目指します。

下水道整備面積 (単位 ha)

区 分	年 度					累 計
	20	21	22	23	24	
整備面積	4.9	2.7	4.6	27.7	2.0	567.5

(調査期間: 平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

平成 24 年度は、下水道面整備を引き続き実施しましたが、管きよ改築事業を優先して行ったため、整備面積については減少しました。

今後も、下水道面整備と接続率の向上を目指します。

⑤ 合併処理浄化槽設置整備事業による設置累計 (平成 13 年度 225 基) を、平成 24 年度には 664 基を目指します。

合併処理浄化槽設置整備事業による設置数 (単位: 基)

区 分	年 度					累 計
	20	21	22	23	24	
設置数	30	22	36	30	27	605

(調査期間: 平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

「広報いとう」、「市ホームページ」等による効果的な制度の周知を図ったことにより、計画基数である 25 基を上回る 27 基の申請がありました。

⑥ 大気・河川水質・底質・地下水・土壌のダイオキシン類の環境基準を維持します。

伊東市及び近隣市町のダイオキシン類の測定結果

(単位：大気 pg-TEQ/m³、水質等 pg-TEQ/l、土壌等 pg-TEQ/g)

ダイオキシン類の測定結果					
年 度	20	21	22	23	24
大 気	下田市 0.0087	下田市 0.012	下田市 0.0074	下田市 0.011	下田市 0.011
	熱海市 0.012	熱海市 0.014	熱海市 0.010	熱海市 0.012	熱海市 0.013
水 質	0.061	0.053	0.066	0.072	0.033
土 壌	河津町 1.1	東伊豆町 0.71	伊豆の国市 0.48	小山町 0.15	伊豆市 0.11
底 質	1.2	2.4	1.1	2.0	2.2
地 下 水	西伊豆町 0.016	下田市 0.019	熱海市 0.020	下田市 0.025	伊豆市 0.024

(調査期間：平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

静岡県が実施した測定結果を記入し、本市で実施されなかった項目は近隣市の数値を参考として記載しました。

大 気：下田市・熱海市の測定で伊豆半島全体の把握を行っています。

水 質：伊東大川渚橋の測定値です。

底 質：伊東大川渚橋の測定値です。

地下水：県を 76 の環境モニタリング区域 (10 kmメッシュ) に分け、区域毎に測定を行っています。

ダイオキシン類に係る環境基準

媒 体	基 準 値
大 気	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
水 質	1pg-TEQ/l以下
土 壌	1,000pg-TEQ/g以下
底 質	150pg-TEQ/g以下
地 下 水	1pg-TEQ/l以下

数値増減の状況等

水質、土壌、底質ともに増減がありましたが、平成 20 年度から基準値を下回っており、良好な状況が保たれています。

(2) 施策の実施状況

【施策ごとの達成状況】

(単位：各課計画数)

	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
1-1 大気環境		12		1	13
1-2 水環境		12			12
1-3 土壌環境		5			5
1-4 その他生活環境		8			8
合計		37		1	38

1-1 大気環境 「汚染物質発生源を減らし、澄んだ空気を維持する」

①大気監視体制の整備・充実

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
県と連携し、必要に応じて観測地点・項目の追加などを図ります。	<p>《成果》 光化学オキシダント、二酸化窒素等の大気環境の測定結果について、県から情報を取得しました。</p> <p>《評価》目標達成 良好な状態が確認でき、観測地点・項目ともに追加の必要はありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

②自動車排ガス対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
アイドリングストップ運動など、環境に配慮した自動車の運転の普及啓発に努めます。	<p>《成果》 省エネルギーについての取組の一環として、アイドリングストップの呼びかけを広報紙に掲載しました。アイドリングストップ車両 3 台を導入しました。</p> <p>《評価》目標達成 市民の環境に対する意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【財政課・環境課】</p>
	<p>《成果》 アイドリングストップの呼びかけ等、職員に対する指導を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 職員の環境に対する意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>環境への負担の少ない低公害車や無公害車の普及を促進します。</p>	<p>《成果》 広報紙等を通じて啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 低公害車や無公害車の普及に関する市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>公共交通機関や自転車の利用を促進します。</p>	<p>《成果》 職員の 1 割弱が公共交通機関、徒歩又は自転車通勤を実施しました。通勤を自動車から温室効果ガス排出量の少ないバイクへ切り替えた職員がいました。</p> <p>《評価》 目標達成 環境配慮行動を促進することができました。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>
<p>公用車の低公害車や無公害車への更新を推進します。</p>	<p>《成果》 ハイブリッド車 1 台、アイドリングストップ車両 3 台を導入しました。</p> <p>《評価》 目標達成 低公害車への更新を推進できました。</p> <p style="text-align: right;">【財政課】</p>
	<p>《成果》 清掃車の買い替えの際、低公害車 2 台を導入しました。</p> <p>《評価》 目標達成 ポスト新長期排出ガス規制適合車への買い替えを図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
	<p>《成果》 消防車両等 3 台を廃車し、低公害車 3 台の買い替えを行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 ポスト新長期排出ガス規制適合車への買い替えを図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>
<p>必要以上のマイカー利用の抑制のため、バス・鉄道事業者、関係団体、市民などととも、総合的な交通施策を検討していきます。</p>	<p>《成果》 生活路線バスとして、11 路線 62 本の運行を確保しました。</p> <p>《評価》 目標達成 地域公共交通会議に図り、路線を確保するとともにチラシ等の配布により利用者の増進に努めました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>

③工場・事業所対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
工場・事業所に対して、大気汚染の防止に関する啓発を行います。	<p>《成果》</p> <p>資料やリーフレットを活用して、事業者への情報提供を行いました。また、大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設の設置等の届出の受付・進達業務及びそれに伴う指導・助言を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>大気汚染防止に関する事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
大気汚染防止法や県の条例に基づき、規制・監視を行い、工場・事業所からの負荷の低減を図ります。	<p>《成果》</p> <p>県と連携し、工場・事業所 6 か所に対して立入調査を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>立入調査でばい煙量等の測定記録や施設の管理状況の確認を行うことにより、事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
公害防止施設を設置する事業者に対し、伊東市公害除去資金貸付金利子補給金交付要綱に基づいた助成をしていきます。	<p>《成果》</p> <p>前年度に引き続き、申請はありませんでした。県や他市町の情報を収集する等、制度の廃止を含めた検討を行いました。</p> <p>《評価》 その他</p> <p>15 年以上の長期間にわたり申請が無く、また、代替えとしての県の利子補給制度があるため、次年度以降の施策の見直し課題としました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

1-2 水環境 「汚染物質発生源を減らし、清らかな水環境を維持する」

①水環境の監視体制の整備・充実

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
県と連携し、必要に応じて観測地点や項目の追加などを図ります。	<p>《成果》</p> <p>河川、海域等の水環境の測定結果について、県から情報を取得しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>良好な状態が確認でき、地点・項目ともに追加の必要はありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
伊東大川支流、その他河川等の水質測定を実施していきます。	<p>《成果》</p> <p>前年度に伊東大川支流、その他河川等の水質測定を実施したため、今年度は県と連携し、地下水、ゴルフ場の排水に関する調査を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>調査結果から地下水、ゴルフ場排水の水質が良好だと確認できました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

②生活排水対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>人口増加地区を公共下水道の認可区域に取り入れ、処理区域の拡張を図っていきます。</p>	<p>《成果》 公共下水道基本計画を基に整備を進めました。</p> <p>《評価》 目標達成 下水道処理区域を拡張しました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>
<p>都市計画法に基づく下水道認可計画を見直し、公共下水道計画区域外においては、新たに整備計画を検討していきます。</p>	<p>《成果》 整備計画の見直し等を検討しました。</p> <p>《評価》 目標達成 計画期間の延長、財政状況を見直しました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>
<p>公共下水道による本市全域の整備は困難なため、公共下水道計画区域以外では他部門で事業採択可能な類似事業による整備を図ります。</p>	<p>《成果》 伊東市合併処理浄化槽設置整備事業により、27 基の補助を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 合併処理浄化槽の普及を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>
<p>公共下水道区域内の整備率向上を目指して、伊東・宇佐美及び荻・十足地区を中心とした管路網の整備を推進します。</p>	<p>《成果》 伊東処理区 1.93ha を整備しました。</p> <p>《評価》 目標達成 管きょ整備の推進を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>
<p>川奈地区の地域汚水処理区域においては、汚水処理施設の効率的な維持管理を目指し、処理区域の拡張については、地域汚水処理区域と公共下水道区域（川奈処理分区）の経済性を考慮し、管路網の整備を図ります。</p>	<p>《成果》 既設管 89m を改築しました。</p> <p>《評価》 目標達成 効率的な維持管理を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>
<p>全国下水道促進デーや小学生の施設見学等を通じ、下水道の意義、効用についての知識を高める P R 活動を行い、下水道に関する市民意識の高揚を図っていきます。</p>	<p>《成果》 市内小学校 4 年生 589 人、老人会 81 人、その他 70 人、合計 740 人が、湯川終末処理場の施設見学を行いました。</p> <p>また、全国下水道促進デー（下水道の日）に合わせ、市庁舎等でイベントを行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 下水道事業への関心と理解が深まりました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
浄化槽法に定められた維持管理について浄化槽設置者に対して講習会等を通じて周知徹底を図ります。	<p>《成果》</p> <p>保健所と連携して講習会を 4 回開催し、延べ 35 人が出席しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>法令に基づく浄化槽の維持管理について、一定の周知を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
水質汚濁防止に関する普及啓発を推進します。	<p>《成果》</p> <p>生活排水による水質汚濁を防止するため、広報紙等で浄化槽の適正な維持管理について普及啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

③工場・事業所対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
工場・事業所に対して、水質汚濁防止に関する啓発を行います。	<p>《成果》</p> <p>資料やリーフレット等を活用して、事業者への情報提供を行いました。また、水質汚濁防止法に基づく特定施設の設置等の届出の受付・進達業務及びそれに伴う指導・助言を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>水質環境の保全に関する事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
水質汚濁防止法や県の条例に基づき、規制・監視を行い、また見直しを検討し、工場・事業所からの負荷の低減を図ります。	<p>《成果》</p> <p>県と連携し、工場・事業所に対して 11 件の立入調査を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>立入調査で排出水の測定記録や施設の管理状況の確認を行うことにより、事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

1-3 土壌環境 「汚染の発生を防ぎ、きれいな土壌を維持する」

①土壌汚染調査・情報収集

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
県と連携し、必要に応じて土壌の保全を図るための定点調査の実施を検討していきます。	<p>《成果》</p> <p>県と連携し、2 か所で地下水の水質調査を行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>調査の結果、周辺地下水に影響はなく、周辺の土壌環境が保全されていることが確認できました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
土壌汚染の状況や汚染源となる物質などの情報収集を図っていきます。	<p>《成果》</p> <p>資料やリーフレットの整備、県の情報等、土壌汚染についての情報収集を行いました。また、収集した情報を基に市民や事業者からの土壌汚染対策法に基づく指定地域に関する問合せに対し、情報提供を行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>市民、事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

②工場・事業所対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
県と連携し、工場・事業所に対して、土壌汚染防止に関する啓発を行います。	<p>《成果》</p> <p>県の資料を活用し、情報提供を行いました。法令で定められた規模以上の土地の掘削等について、県に届出を行うよう指導しました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
県と連携し、農用地の土壌の汚染防止等に関する法律や土壌汚染対策法に基づき、規制・監視や浄化対策の指導を行い、工場・事業所からの負荷の低減を図ります。	<p>《成果》</p> <p>県と連携し、指定地域における土地の形質変更の禁止や浄化対策の指導を行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>規制・監視等を行うことで、汚染の拡散を防ぎ、工場・事業場の周辺環境に対する負荷の低減を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
県と連携し、農用地等における化学肥料・農薬・除草剤などの適正使用の指導や静岡県農作物病害虫防除基準による効率的な使用を促進します。	<p>《成果》</p> <p>化学肥料等の適正使用の指導等により、農業関係者が低農薬に努めました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>有機・自然栽培農業の普及を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>

1-4 その他生活環境 「環境負荷を減らし、安心して暮らせる生活環境を維持する」

①その他生活環境監視体制の整備・充実

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
県と連携し、必要に応じて観測地点や、新たな有害汚染物質など観測項目の追加を図ります。	<p>《成果》</p> <p>県からダイオキシン類の測定結果のほか、技術的な助言や新しい有害物質等の情報を取得しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>良好な状況が確認でき、新たな観測地点や観測項目を追加する必要はありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

②その他生活環境の保全対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
農地や公園緑地に対する農薬・除草剤の使用を抑制するとともに、使用に当たっては毒性の低いものを優先するよう促します。	<p>《成果》</p> <p>農薬・除草剤の使用を抑制するよう呼びかけを行ったことにより、農業関係者が低農薬に努めました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>有機・自然栽培農業の普及を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>
廃棄物不正焼却防止の啓発を進め、ダイオキシン類の発生防止を図ります。	<p>《成果》</p> <p>リーフレット等を活用し、廃棄物の不正焼却に対する指導を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>市民・事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
日常生活に伴う騒音や悪臭を防止するための自主的な対策や配慮を促します。	<p>《成果》</p> <p>県から騒音や悪臭についての技術的な助言や対策についての情報を取得しました。その情報を基に、市に寄せられた相談に対して、原因者に改善するよう指導を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>騒音や悪臭の防止に関する市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
日照障害、電波障害、光害等に関する情報を収集し、対策について検討します。	<p>《成果》</p> <p>県と連携し、日照障害等、典型七公害（水質汚濁、大気汚染、土壌汚染、悪臭、騒音、振動、地盤沈下）以外の公害情報を収集しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>日照障害等の苦情、相談等は無く、良好な環境を保つことができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
ダイオキシン類の発生抑制に対応した廃棄物処理を推進します。	<p>《成果》</p> <p>ダイオキシン類の発生は、法令に定める基準値を下回りました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>廃棄物処理施設の適正な運転・管理が行われ、ダイオキシン類の発生抑制を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

③工場・事業所対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
工場・事業所に対して、騒音、振動、悪臭、有害化学物質による環境汚染の発生防止に関する啓発を行います。	<p>《成果》</p> <p>県と連携し、騒音、振動等の防止方法について、工場・事業所に対して情報提供を行いました。また、県と連携し、薬品を取り扱っている事業者に対し、悪臭の防止についての技術的な助言と指導を行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>騒音等の発生防止に関する事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法や県の条例に基づき、規制・監視を行い、工場・事業所からの負荷の低減を図ります。	<p>《成果》</p> <p>騒音・振動・悪臭の特定施設設置等の届出の審査業務及びそれに伴う指導・助言を行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>事業者に対して適切な指導を行い、環境保全対策が実施されました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

2 基本目標② 恵まれた環境を守り育てる 自然豊かなまちづくり

(1) 環境達成目標

- ① 都市計画公園一人当たりの面積（平成 13 年度 7.25 m²）を、平成 24 年度には 7.5 m²を目指します。

都市計画公園一人当たりの面積 (単位：m²/人)

地名点	年 度				
	20	21	22	23	24
都市計画公園	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25

(調査期間：平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入。)

数値増減の状況等

都市公園の拡張計画が決定しなかったため、面積の変動がありませんでした。

(2) 施策の実施状況

【施策ごとの達成状況】 (単位：各課計画数)

	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
2-1 自然環境		17		2	19
2-2 身近な自然		4	3	4	11
2-3 歴史的・文化的環境		9		2	11
合 計		30	3	8	41

2-1 自然環境 「豊かな自然を守り、将来の世代に引き継ぐ」

① 良好な自然環境の保全

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
国立公園特別地域の格上げなども含めた検討や第 1 種特別地域の公有地化を推進するとともに、ナショナルトラスト運動を支援していきます。	《成果》 特になし 《評価》その他 環境省による法令に基づく国立公園特別地域の見直し等は行われず、検討する必要はありませんでした。 【建築住宅課】
自然公園法の趣旨や許可申請など自然環境保全意識の普及啓発を行い、自然破壊が進みつつある地区などの保全を図ります。	《成果》 県と連携し、違反物件に対する是正指導を行いました。 《評価》目標達成 地区の自然環境を保全することができました。 【建築住宅課】

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>自然環境豊かな地域に設置されている野外広告などの工作物は、周囲の景観と調和した形状への誘導を図ります。</p>	<p>《成果》 違反広告物の除却及び是正指導を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 景観への意識が高まりました。</p> <p style="text-align: right;">【建築住宅課】</p>
<p>各種事業施工に際しては自然型工法を採用するなど、自然環境の保全を図ります。</p>	<p>《成果》 松原・鎌田線舗装改良工事において、雨水の自然浸透に配慮した透水性舗装を採用しました。</p> <p>《評価》 目標達成 雨水流出の分散に効果がありました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
<p>市域の自然環境の実態の把握を目的とした、自然環境調査の実施を検討します。</p>	<p>《成果》 県と連携して行った地下水等の採水の調査、他団体と協力して行った水生生物調査及び県から取得した大気、水質等の生活環境調査の結果により、自然環境の実態の把握を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 自然環境が良好であることが確認できました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>市の巨木や名木の保護に努めます。</p>	<p>《成果》 関係者の協力により、保護が図られました。</p> <p>《評価》 目標達成 美しい景観を保全することができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>
	<p>《成果》 関係者の協力により、保護が図られました。</p> <p>《評価》 目標達成 文化財指定に向けての調査などを通して保護・対策を図りました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>
<p>親しみやすい自然環境が残されている海浜、小川などの保全を図ります。</p>	<p>《成果》 オレンジビーチ、いるか浜の海岸清掃を年間通じて実施しました。</p> <p>《評価》 目標達成 自然環境の保全を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
	<p>《成果》</p> <p>準用河川松尾川改良工事では、自然環境に配慮し、蛇かご工法を採用し、護岸を施工しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>自然環境を最大限残すことができました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
松くい虫による被害や、枯れ木現象の実態把握をして、防除に努めます。	<p>《成果》</p> <p>城ヶ崎地区について、松くい虫の被害の実態を把握し、防除に努めました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>被害の実態の把握と、防除を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>

②温泉など自然の恵みの活用

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
城ヶ崎海岸、さくらの里、一碧湖、松川湖などの自然や花木を生かした観光スポットや、自然や歴史を生かしたウォーキングコースの整備を進め、自然環境の保全と活用を図ります。	<p>《成果》</p> <p>まちづくり団体等と協働で、ウォーキングコースの維持管理を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>自然環境の保全と活用を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
海、山、高原、里山、温泉など自然環境をグリーンツーリズム・ブルーツーリズムなど自然とふれあうことができる体験型観光などに活用し、健康回復都市宣言に基づき伊東らしい観光地づくりを進めます。	<p>《成果》</p> <p>ガイド付きウォーキング「ゆったり・湯めまちウォーク」を年 8 回開催しました。さらに、ガイドを担う伊東自然歴史案内人の養成講座を実施しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>自然環境の魅力をガイドできる伊東歴史自然案内人を、16 人養成することができました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
観光施策の指針づくりを進め、環境資源を大切にしたい個性ある観光地づくりを推進します。	<p>《成果》</p> <p>伊豆半島ジオパークが、日本ジオパークの認定を受けました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>個性ある観光地づくりを推進できました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
伊東市観光温泉資源保護条例に基づき温泉資源の保護に努め、継続的活用を図ります。	<p>《成果》</p> <p>条例を順守し、温泉資源の保護、活用を推進しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>温泉を活用した観光地づくりを推進できました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>

③秩序ある土地利用の推進

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>国立公園特別地域の周辺地域について、建物の建築や土地の形状変更等に一定の制限を加えます。</p>	<p>《成果》 特になし</p> <p>《評価》 その他 国立公園特別地域の周辺地域については、土地利用指導要綱に沿って指導を行っています。</p> <p style="text-align: right;">【建築住宅課】</p>
<p>国立公園特別地域の開発については、土地利用指導要綱等の運用強化を図ることにより、自然環境と調和した開発を誘導します。</p>	<p>《成果》 土地利用指導要綱に沿った指導を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 開発を自然環境と調和したものとすることができました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>
<p>現行用途地域の見直し、緑地の保全と緑化の推進、農業振興地域の見直し等を検討します。</p>	<p>《成果》 現行用途地域の見直し等、検討を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 検討の結果、変更等はありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>
	<p>《成果》 平成 25 年度の農業振興地域の定期変更に備え、農用地所有者の意向調査を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 編入及び除外すべき農用地の明確化を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>
<p>現況の土地利用指導要綱では、十分な開発規制を行うことができないため、開発規制の条例化に向けて、調査・研究を行います。</p>	<p>《成果》 開発規制に関する情報収集を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 条例化に向けて調査・研究を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>

2-2 身近な自然 「身近な自然を創出し、うるおいある市街地を形成する」

①街中の緑の創出

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
市民や来訪者が利用できる都市計画公園の整備を進め、既設公園の再整備を推進していきます。	<p>《成果》</p> <p>富戸公園については立木の伐採・せん定等を行い、物見ヶ丘公園についてはのり面・グラウンド面等の整備を行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>公園の利便性が向上しました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>伊東公園の遊歩道を整備し、利用者の利便性と安全性を向上させました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>公園の価値が向上しました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
空き地等を活用して緑化を図り、子供の健全な遊び場としての子供広場を整備していきます。	<p>《成果》</p> <p>特になし</p> <p>《評価》その他</p> <p>適地の検討をした結果、該当がなかったため、子供広場の整備は行いませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>
緑化のための市民運動等を支援し、うるおいあるまちづくりを図ります。	<p>《成果》</p> <p>公共施設の里親制度（アダプトシステム）の活用により、花の種・苗の配布や消耗品を貸与し、道路や駅ロータリーの美化活動を行う市民団体に対し、支援を実施しました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>うるおいのあるまちづくりを推進することができました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>グリーンバンク制度の活用により、花の種・球根・苗を配布し、地域の緑化活動を支援しました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>うるおいのあるまちづくりを推進することができました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>

②都市の緑地景観の形成

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
重要景観形成地区を指定し、地域の個性豊かな都市景観を守り育てます。	<p>《成果》 特になし</p> <p>《評価》その他 平成 23 年 12 月に伊東市景観条例が施行され、重要景観形成地区の指定は行われなくなりました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>
市民の自主的なまちづくりを推進し、個性を生かした都市景観の形成を図ることを目的とする団体を認定し、この団体の活動地区においてまちづくり協定を結び景観形成推進地区として指定します。	<p>《成果》 松川周辺地区まちづくり推進協議会にて月 1 回以上の会合を開きました。</p> <p>《評価》目標以下 まちづくり協定の締結に対しては、まだ合意形成が整っていません。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>
都市景観の形成を先導的に推進すべき事業を重点事業として指定し、重点的な整備を図ります。	<p>《成果》 特になし</p> <p>《評価》その他 平成 23 年 12 月に伊東市景観条例が施行され、重点事業の指定は行われなくなりました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>

③親しみやすい水辺の創出

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
人工河床を自然河床とし、親水護岸・親水公園の整備を推進します。	<p>《成果》 人口河床を自然河床にした箇所は無く、静岡県における親水護岸・親水公園の整備も行われませんでした。</p> <p>《評価》目標以下 施策への取組が行われませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
「川のある湯のまち」の演出とともに、中心市街地を流れる伊東大川の中流域の整備を進めていきます。	<p>《成果》 特になし</p> <p>《評価》目標以下 河川管理者である県による中流域の整備は行われませんでした。引き続き、県と連携して、整備を行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
憩いの場として海浜公園や海岸遊歩道の整備を促進していきます。	《成果》 特になし 《評価》その他 適地の検討をした結果、該当がなかったため、整備は行いませんでした。 【都市計画課】

2-3 歴史的・文化的環境 「郷土文化を継承し、伊東らしさを育む」

①文化財の保全

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
市民が文化財に親しむ機会の充実を図り、文化財愛護の精神を普及し、郷土を愛する心を育みます。	《成果》 生涯学習講座との連携による市民対象の文化財講座を行いました。 《評価》目標達成 参加者が伊東の自然、文化遺産に親しむ機会となりました。 【生涯学習課】
市民の協力や関係機関との連携により、文化財の保護・保存を推進するとともに、調査結果の公開に努めます。	《成果》 文化財指定に向け、石丁場調査を実施するとともに、市民団体と連携をはかり、写真展に協力しました。 《評価》目標達成 市民や関係機関との連携により、保護・保存を図ることができました。 【生涯学習課】
文化財管理センターを活用し、郷土資料の収集・整理を進めていきます。	《成果》 寄贈された資料を展示し、各小学校の施設見学や解説を行うとともに、学校への出前授業を行いました。 《評価》目標達成 子どもたちが昔の暮らしに対する理解を深める機会となりました。 【生涯学習課】
伊東市史の刊行や市史講演会及び市史講座の開催などを行い、市民の郷土に対する理解を深め、次の世代への歴史・文化の継承を図ります。	《成果》 「伊東市史別編・伊東の自然と災害」を刊行するとともに、市史講演会、市史講座を開催しました。 《評価》目標達成 伊東の歴史を学び、次世代の歴史・文化の継承に努めました。 【生涯学習課】

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
木下空太郎記念館の整備や関係資料の収集、充実を図ります。	<p>《成果》</p> <p>新たに受け入れた木下空太郎直筆原稿や掛け軸などの新資料を特別公開しました。また、児童の見学を受け入れ、学習の場としました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>来館者に対し、木下空太郎に関する知識を普及することができました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>
埋蔵文化財の包蔵地の周知に努める一方、広報紙等の活用によって、文化財の意義を知らせ、文化財の保護に努めます。	<p>《成果》</p> <p>発掘調査成果の企画展、子供向けの古代体験講座を実施しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>市民が伊東の歴史を身近に感じる機会となり、好評を得ました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>
各地に点在する郷土資料や天然記念物を保護、保全するとともに、説明看板の設置などによる広報に努めます。	<p>《成果》</p> <p>指定文化財管理者に対し、補助金を交付し、文化財の保護・保存に努めました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>文化財保護の啓発ができました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>

②歴史的・文化的資源の活用

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
伊東らしい観光地づくりに、地域の歴史・郷土芸能や郷土にゆかりのある文学作品、東海館や木下空太郎記念館などの文化財を活用していきます。	<p>《成果》</p> <p>東海館において、お座敷文化大学、東海館まつり等を開催し、伊東の郷土の周知等を図りました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>市文化財である東海館の活用を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>東海館における歴史資料等の充実を図るとともに、木下空太郎記念館で特別展を開催し、多くの来館者が訪れました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>来館者が郷土の歴史を認識する機会となり、好評を得ました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>
都市景観の形成に重要な役割を果たしている施設等について、景観重要建造物等に指定し、景観の保全・創出を図ります。	<p>《成果》</p> <p>特になし</p> <p>《評価》 その他</p> <p>検討の結果、景観重要建造物等の新規指定をする必要がありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
重要景観形成地区を指定し、地域の個性豊かな都市景観を守り育てます。	<p>《成果》 特になし</p> <p>《評価》その他 平成 23 年 12 月に伊東市景観条例が施行され、重要景観形成地区の指定は行われなくなりました。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>

3 基本目標③ 資源を大切にし 環境にやさしいまちづくり

(1) 環境達成目標

- ① 一人一日当たりのごみ排出量(平成 13 年度 1,721 g)を基準として、平成 24 年度には 1,702 g を目指します。

一人一日当たりのごみ排出量 (単位：g)

区 分	年 度				
	20	21	22	23	24
ごみ排出量	1,452	1,329	1,303	1,300	1,305

(調査期間：平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

平成 20 年度のごみ処理有料化事業導入により、可燃ごみの排出量が大幅に減少し、平成 24 年度における目標を達成しました。今後とも更なる減量化に努めていきます。

- ② 一般廃棄物(ごみ)の総排出量に対するリサイクル率が減少傾向にありますが、平成 24 年度の目標である 15.7%以上のリサイクル率を目指します。

リサイクル率 (単位：%)

区 分	年 度				
	20	21	22	23	24
リサイクル率	21.0	20.6	20.4	19.6	19.3

(調査期間：平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

平成 19 年度から、古紙を始めとする資源ごみについては、買取価格の高騰により個人が資源回収業者に売却する状況があり、市へ排出する資源ごみの量が減ったことから、リサイクル率は減少傾向にありますが、今後ともリサイクル率の向上に努めていきます。

- ③ 家庭用生ごみ処理機器設置世帯数は、平成 24 年度 34 世帯となっており、平成 24 年度における累計目標である 2,444 世帯を目指します。

設置世帯数

(単位：世帯)

区 分	年 度					累 計
	20	21	22	23	24	
設置世帯数	281	99	54	51	34	1,576

(調査期間：平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

平成20年度はごみ処理有料化事業導入の年であり、4月1日から電動式生ごみ処理機の補助率を3分の1から2分の1に、補助額も2万円から3万円へ引き上げる要綱の改正が施行されたことで、大幅な増加となっています。

平成 24 年度は、引き続き広報活動を通して周知を行った結果、設置世帯数は減少したものの、34 世帯 44 基の家庭用生ごみ処理容器等の設置ができました。今後とも、設置世帯数の増加に努めていきます。

- ④ 伊東市役所内のCO₂排出量平成 11 年度基準値 (8,354 t) を平成 24 年度までに 6%削減を目指します。

温室効果ガス総排出量調査結果

(単位：t-CO₂)

温室効果ガス総排出量調査結果						
年度	11(基準年)	20	21	22	23	24
排出量	8,354	7,612	7,568	7,863	7,276	7,334
削減量	——	-742	-786	-491	-1,078	-1,020
削減率	——	-8.9%	-9.4%	-5.9%	-12.9%	-12.2%

(調査期間：平成 20 年度から平成 24 年度までの統計を記入)

数値増減の状況等

平成 24 年度の温室効果ガス総排出量は、CO₂換算値で 7,334 t となりました。計画停電の影響もあり、大幅に削減した平成 23 年度と比較すると排出量が増加する結果となりましたが、基準年との比較で排出量は 1,020 t、削減率で 12.2%の削減となり、削減目標である 6%を達成することができました。

(2) 施策の実施状況

【施策ごとの達成状況】

(単位：各課計画数)

	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
3-1 廃棄物		19			19
3-2 資源・エネルギー		9		1	10
3-3 地球環境		11			11
合計		39		1	40

3-1 廃棄物 「ごみを減らし、リサイクルを進める」

①ごみの減量・再資源化の推進

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
分別方法の周知徹底など、啓発、教育、指導活動等を実施し、ごみの排出抑制及び資源化の促進を図ります。	<p>《成果》</p> <p>各校ともごみの分別に積極的に取り組み、リサイクル活動を推進することができました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>アルミ缶やペットボトルキャップ回収活動に取り組む児童会、生徒会が増え、日常のごみの再資源化への意識が高まりました。</p> <p style="text-align: right;">【教育指導課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>ごみカレンダー及びごみ減量推進パンフレットにより分別方法や生ごみの減量化についての啓発を行うとともに、施設見学の受け入れを行いました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>ごみの分別や減量化について、市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
家庭用（可燃）ごみ指定袋を有料化し、市民のごみ減量化・資源化の意識の向上を図るとともに、受益者負担の公平性を高めます。	<p>《成果》</p> <p>可燃ごみの排出量が 0.2%増加しましたが、総排出量は 0.7%減少しました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>可燃ごみの排出量は減少しませんでした、ごみの総排出量は減少しており、市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>コンポスト、電動式生ごみ処理機の設置に対する補助制度及び資源ごみ集団回収に対する報奨制度等を継続し、ごみの排出抑制・再資源化を図ります。</p>	<p>《成果》 家庭用生ごみ処理容器等設置費補助金制度により、34 世帯に補助金を交付し、また、資源ごみ集団回収奨励事業により、109 団体に対して 4,347,669 円の報償金を交付しました。</p> <p>《評価》目標達成 ごみの排出抑制及び再資源化に対する市民の意識向上を図ることができ、また、ごみの減量化も推進されました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>多量の一般廃棄物を排出する事業者に対しては、ごみの発生・排出抑制の指導を行うとともに、排出量に応じた料金の徴収を実施します。</p>	<p>《成果》 事業者から排出量に応じた事業系一般廃棄物処理手数料を徴収しました。</p> <p>《評価》目標達成 ごみの排出抑制及び減量化について、事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>剪定枝のチップ化などを検討し、再資源化に努めます。</p>	<p>《成果》 市内で行った伐採にて出た樹木を、チップ化しました。</p> <p>《評価》目標達成 剪定枝の再資源化を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
	<p>《成果》 市内団体に破砕機を貸し出すとともに、市有施設の整備において発生した剪定枝等をチップ化し、公園等に敷設しました。</p> <p>《評価》目標達成 剪定枝の再資源化を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
	<p>《成果》 市有備品を使用し、剪定枝のチップ化を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 剪定枝の再資源化を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>

②ごみ適正処理の推進

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>可燃ごみは、環境美化センターにおいて焼却処理し、焼却灰はリサイクル化（熔融固化等）を継続していきます。</p>	<p>《成果》 環境美化センターの焼却灰 3,027t を、熔融固化処理によりリサイクルしました。</p> <p>《評価》 目標達成 可燃ごみの資源化に努めました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>リサイクルプラザ及びストックヤードを整備し、資源ごみ及び粗大ごみの再資源化・再使用の推進を図ります。</p>	<p>《成果》 環境美化センター更新改良整備工事に併せ、リサイクル施設及びストックヤードの整備を進めるとともに、ペットボトルの収集方法について、具体的な検討を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 新たな資源ごみの再資源化に向けた取組が推進されました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>発生したごみの再資源化と、再資源化できないものの減容化により、最終処分場への負荷の低減を図ります。</p>	<p>《成果》 資源ごみの分別、金属ごみの売却により、埋立ごみの減量化を図ることができました。</p> <p>《評価》 目標達成 最終処分場への負荷低減（延命）を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>最終処分場施設の適正な管理・運営に努め、生活環境の保全、公害の防止等を図ります。</p>	<p>《成果》 最終処分場職員により、遮水シートの劣化対策を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 施設の適正な管理及び周辺環境の保全を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>ダイオキシン類、窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）の発生抑制を推進します。</p>	<p>《成果》 有害物質の排出は、法令で定める基準値以下でした。</p> <p>《評価》 目標達成 有害物質の排出抑制を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
<p>焼却施設や粗大ごみ処理施設などの現施設の適切な維持管理を図っていきます。</p>	<p>《成果》 ごみの減量化により、施設への負荷の低減を図ることができました。</p> <p>《評価》 目標達成 施設の適正な維持管理をすることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
産業廃棄物については、県と連携を図りながら適正処理と再資源化が行われるよう指導を行っていきます。	<p>《成果》 不法投棄現場の確認等、県と連携し、事業者に対して適正処理についての指導を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 産業廃棄物の適正処理を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

③ごみ不法投棄等の防止

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
不法投棄防止の啓発活動を行い、市民、観光客の美化意識の向上を図ります。	<p>《成果》 広報紙や啓発パンフレット等により、不法投棄防止の啓発を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 市民や観光客等の美化意識の向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
ポイ捨て防止パトロールの強化や、市民、警察等の関係機関と連携し、不法投棄の未然防止に取り組みます。	<p>《成果》 不法投棄防止パトロールを行うとともに、市民からの要望により不法投棄防止看板を設置しました。</p> <p>《評価》目標達成 不法投棄の未然防止を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
美化推進モデル地区を設定し、美化活動の推進、市民意識の高揚を図るための啓発を促進します。	<p>《成果》 ごみを収集する美化員が組織した美化推進班により散乱ごみの回収を行うとともに、地域の清掃活動等に対して支援を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 環境美化に対する市民意識の高揚を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
土地所有者や管理者に対して、自主的に不法投棄防止対策を行うよう啓発に努め、またその支援策を講じ、法律でリサイクルが義務付けられている物品の不法投棄を未然に防止するための啓発活動を行います。	<p>《成果》 啓発パンフレットを活用し、不法投棄されない環境作りについて啓発するとともに、不法投棄防止看板の設置等、積極的な支援を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 不法投棄の未然防止を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

3-2 資源・エネルギー 「資源を有効利用し、環境への負荷を減らす」

①水資源の保全と有効利用

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>有害物質等により発生する水問題に対しては、的確な情報収集や監視体制のもとに水質管理を徹底していきます。</p>	<p>《成果》 水質検査計画に基づく原水及び浄水の検査を実施し、その結果を市ホームページで公表しました。さらにすべての水源において耐塩素性微生物に関する検査を実施し、水質管理の強化を図りました。特に岡片倉第一・第二水源については耐塩素性微生物対策として、紫外線照射設備等の導入の必要性について検討を重ねました。また、水源 32 箇所及び配水池 48 箇所を定期的に巡回点検し、施設の清掃、大川浄水場の来訪者及び出入り業者のチェックも徹底しました。</p> <p>《評価》 目標達成 適正な水質管理を行い、安全でおいしい水を供給することができました。</p> <p style="text-align: right;">【水道課】</p>
<p>水道水源保護条例の適正な運用を図り、その他の水源についても水質の保護に努めます。</p>	<p>《成果》 特になし（審議案件なし）</p> <p>《評価》 その他 昨年度に伊東市水道水源保護審議会委員の改選を行い、今年度は委員の交代等はありませんでした。審議案件発生時には、条例に基づき速やかに審議会に諮れるよう体制を整えています。</p> <p style="text-align: right;">【水道課】</p>
<p>限りある水資源の大切さを呼びかけ、節水意識の高揚を図ります。</p>	<p>《成果》 6 月の水道週間に合わせ、各種広報媒体を利用した PR や一般市民を対象とした水道施設見学、さらには年間を通して市内の小中学生による施設見学の受入れを実施し、水資源の大切さを呼びかけ、節水意識の高揚を図りました。また、市ホームページ等による啓発活動も実施しました。</p> <p>《評価》 目標達成 ふだん立ち入ることのできない水道施設を見学してもらうことで、水資源に対する理解を深めてもらうことができました。</p> <p style="text-align: right;">【水道課】</p>
<p>水源の涵養となる森林や表土の保全に努めます。</p>	<p>《成果》 森の力再生事業の推進、啓発を行い、森林環境の整備を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成 森林環境の保全を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>

②温泉源の保全と有効利用

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
伊東市観光温泉資源保護条例に基づき温泉資源の保護に努め、継続的活用を図ります。	<p>《成果》</p> <p>条例に基づき温泉資源の保護を行うとともに、市内各所に設置した足湯に使用する等、継続的に活用することができました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>温泉を活用した観光地づくりを推進できました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
温泉源のデータ集積を進め、利用実態の把握に努めます。	<p>《成果》</p> <p>市内の温泉について熟知している伊東温泉組合に事業を委託し、湧出量の調査を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>各年度の温度等の変化を把握できました。</p> <p style="text-align: right;">【課税課】</p>

③エネルギーの有効利用

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
省エネルギー型の生活や事業活動の工夫について、意識の啓発に努めます。	<p>《成果》</p> <p>広報紙等を通じて、省エネルギー型の生活についての啓発を行いました。太陽光発電システム設置支援事業の補助により、再生可能エネルギーの導入支援を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>市民・事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
市の公共施設の整備に当たっては、省エネルギー型の設備・機器や自然エネルギー発電などの優先的な導入に努めます。	<p>《成果》</p> <p>伊東市民病院の整備に当たり、省エネルギー型の設備・機器等の導入を行い、併せて可能な限り LED 電球を採用するとともに、将来的に太陽光発電設備を設置できるスペースを屋上に確保しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>伊東市民病院の整備に当たっては、施策の方針に記載のとおり、省エネルギー型の設備・機器の整備等を行うことができました。</p> <p style="text-align: right;">【健康医療課】</p>
廃棄物処理施設の更新時には、省エネルギー・省資源型や焼却熱利用などエネルギー有効利用施設への切り替えを検討します。	<p>《成果》</p> <p>環境美化センター更新改良整備工事において、熱回収率 10%以上の熱回収施設として整備を進めました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>エネルギー有効利用施設への切り替えを推進することができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
エネルギー利用効率の高い輸送交通手段やコージェネレーション、自然エネルギーの活用に関する普及啓発に努めます。	<p>《成果》</p> <p>広報紙等を通じて、市民に対して公共交通機関の利用を呼び掛けるとともに、事業者に対してコージェネレーション等についての県の補助金制度に関する情報提供を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>市民・事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

3-3 地球環境 「地球環境への影響を認識し、伊東から貢献する」

①地球温暖化防止

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
市民の日常生活や事業活動から排出される二酸化炭素の抑制について普及啓発に努めます。	<p>《成果》</p> <p>「ライトダウンジャパン 2012」実施の呼びかけ等、二酸化炭素の排出抑制についての啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>「ライトダウンジャパン 2012」には市内 6 団体の参加があり、市民及び事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
公用車の低公害車や無公害車への更新の推進や、自然を活用する等の新エネルギー導入を検討し、温室効果ガスの削減を図ります。	<p>《成果》</p> <p>アイドリングストップ車 4 台とハイブリッド車 1 台を導入し、老朽化した車両も 7 台廃車しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>エコカーを導入する等、削減に積極的に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【財政課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>清掃車 2 台を平成 27 年度燃費基準達成車に更新しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>低公害車への更新を実施しました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>伊東市民病院の整備に当たり、将来的に太陽光発電パネルを設置できるスペースを屋上に確保しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>自然を活用する等の新エネルギー導入を検討しました。</p> <p style="text-align: right;">【健康医療課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
	<p>《成果》</p> <p>老朽化した消防車両等 3 台を廃車し、低公害車への更新を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>温室効果ガス削減に貢献できました。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>
二酸化炭素の吸収源として、緑地の保全を図るとともに緑化を推進します。	<p>《成果》</p> <p>森林所有者の整備が行き届かない地区で緑地の倒木処理等を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>緑地整備を行うことにより、保全を図りました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>

②オゾン層保護対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
市民や事業者に対し、オゾン層保護のための普及啓発に努めます。	<p>《成果》</p> <p>オゾン層保護に関する記事を広報紙に掲載し、啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>オゾン層保護に関する市民や事業者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
フロン回収や適正処理に関する情報提供に努めます。	<p>《成果》</p> <p>フロン回収や適正処理の記事を広報紙に掲載し、啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>フロン回収や適正処理に関する市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

③その他地球環境問題対策

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
地球環境問題に関する情報収集と普及啓発に努めます。	<p>《成果》</p> <p>「環境の日」等のイベントや広報紙等を通じて、地球環境問題に関する普及啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>地球環境の保全に関する市民意識の向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
酸性雨対策の一環として、酸性雨のモニタリング調査の実施を検討します。	<p>《成果》</p> <p>大気環境の測定結果について、県から情報を取得しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>良好な状態が確認でき、酸性雨の調査をする必要はありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
公共事業における熱帯林材を用いた資材や備品の使用削減に努め、森林保護に努めます。	<p>《成果》</p> <p>公共事業における熱帯林材を用いた型枠の使用を削減すべく、特記仕様書に明記しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>熱帯林材の使用を削減することができました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>

4 基本目標④ みんなで学び よりよい豊かな環境のまちづくり

【施策ごとの達成状況】

(単位：各課計画数)

	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
4-1 環境学習		10	1		11
4-2 環境保全活動・環境配慮		12	6		18
合 計		22	7		29

(1) 施策の実施状況

4-1 環境学習 「環境への認識を高め、環境にやさしい人づくりを進める」

①環境情報の整備と提供

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
小中学校や高等教育機関、関係行政機関等との連携により、環境学習のあり方について検討し、環境学習の基本方針を検討します。	<p>《成果》</p> <p>各行政機関と連携し、環境学習のあり方や基本方針を検討し、市内各施設の見学、アースキッズプログラム等の環境学習に取り組みました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>各行政機関との協力により、市内各施設見学等に取り組むことができ、二酸化炭素排出量の削減やリサイクル活動の意義等、環境学習を進めることができました。</p> <p style="text-align: right;">【教育指導課】</p>
教育関連機関と連携し、環境学習のための教材や環境情報の整備を進めます。	<p>《成果》</p> <p>県から提供された環境教育に関する資料やリーフレットを生涯学習課に提供する等、教材及び情報の共有を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>環境学習のための教材や環境情報が整備されました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
	<p>《成果》 環境関係のリーフレットの整備や情報収集に努めました。</p> <p>《評価》目標達成 環境課や県の研究機関等が配布する資料の活用を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>
市民や事業者が持っている環境学習に役立つ情報を収集・整理し、提供を図ります。	<p>《成果》 環境学習コーディネーター等から環境学習に役立つ情報・資料を収集し、市民にその情報を提供しました。県の研修に参加し、他市の情報を収集しました。</p> <p>《評価》目標達成 環境学習に役立つ情報を収集し、提供をすることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
図書館など公共施設における環境資料の整備を進めます。	<p>《成果》 環境問題に関する新刊書を購入し、市民に貸し出しました。</p> <p>《評価》目標達成 新刊購入計画に環境資料を含んでいるため、定期的に収蔵し、市民に周知できました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>

②環境学習の場や機会の提供

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
大川浄水場・奥野ダム・環境美化センター・終末処理場等施設の環境学習への活用を継続していきます。	<p>《成果》 関係機関の協力により、市内全ての小学校で環境美化センター、大川浄水場などの環境学習に関係する施設の見学、学習を進めることができました。</p> <p>《評価》目標達成 関係機関との連携を強化するため、対応窓口を教育指導課に一本化したことで、よりスムーズな体験学習を進めることができました。</p> <p style="text-align: right;">【教育指導課】</p>
自然の中で体験学習ができるよう体制づくりを検討していきます。	<p>《成果》 関係行政機関、外部機関の環境学習事業を各校に紹介し、活用を推進しました。</p> <p>《評価》目標達成 中学校で伊豆半島ジオパークに関する学習に講師を招くなど、多くの学校で環境学習に取り組み、総合学習が充実した内容となり、窓口を教育指導課にしたことで、環境学習の体制がより強化されました。</p> <p style="text-align: right;">【教育指導課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
環境月間行事や環境フェアなどの各種イベントを通じて、市民の環境に対する関心を喚起します。	<p>《成果》 環境月間やごみフェスティバル、アースキッズ事業等のイベントを行いました。</p> <p>《評価》目標達成 イベントを通じて、市民の環境に対する関心を喚起することができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
消費者セミナー、特別講座等において環境学習の機会を設けていきます。	<p>《成果》 消費者セミナーの実施は無く、特別講座は環境学習以外の内容での開催となりました。</p> <p>《評価》目標以下 環境学習の機会を設けられず、環境保全に関する啓発をすることができませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【市民課】</p>
生涯学習講座や小学生ふるさと教室などを通して、環境学習の機会や情報の提供をし、市民の環境に対する心の醸成に努めます。	<p>《成果》 小学生ふるさと教室「松川湖水生生物の観察」を実施しました。</p> <p>《評価》目標達成 参加者に環境学習の必要性を学習してもらうことができました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>

③人材育成と連携の促進

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
環境の様々な分野で活動している個人や団体等をデータベース化し、相互の連携を深めるなど、人材の活用を図るとともに、活動しようとしている個人や団体の支援についても検討します。	<p>《成果》 静岡県地球温暖化防止活動推進員や環境カウンセラーと協力し、アースキッズ事業等を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 アースキッズ事業等を実施することで、相互の連携が深まり、人材の活用を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

4-2 環境保全活動・環境配慮 「みんなで協力し、より良い環境づくりを進める」

①環境保全活動の推進

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>消費者セミナーや、消費生活展示などを通し、環境保全活動のための情報提供を図ります。</p>	<p>《成果》 消費者セミナーや消費生活展示の実施は無く、また、他のイベント等においても環境保全活動のための情報を提供する機会を設けることができませんでした。</p> <p>《評価》目標以下 環境保全活動のための情報を提供することができませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【市民課】</p>
<p>町内会やグループ、ボランティア、NPO、事業者等が行う環境保全活動を把握し、その支援に努め、協働を図ります。</p>	<p>《成果》 各行政区や町内会、ボランティア等の地域清掃美化活動を把握し、収集運搬の協力や物品の支給等、各種支援を行いました。</p> <p>《評価》目標達成 各団体が実施している環境保全活動の状況を把握し、協働することができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
	<p>《成果》 城ヶ崎地区を中心とした松の保全活動に取り組むボランティアグループと協力し、松くい虫の予防剤の注入作業を実施しました。</p> <p>《評価》目標達成 ボランティアグループを支援し、予防剤の注入作業を行い、協働することができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>
<p>環境保全活動を実践する主体間の交流の場を設け、環境に関する情報交換の場として機能させます。</p>	<p>《成果》 河川整備計画について、県と意見や情報の交換を行いました。</p> <p>《評価》目標以下 住民を交えた情報交換の場を、設けることができませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
<p>環境保全活動の実践に当たっては、市の施設や資材の提供に努めます。</p>	<p>《成果》 他の工事現場にて発生した土砂等を利用しました。</p> <p>《評価》目標達成 市の工事だけでなく、他の工事現場にて発生した土砂等についても再利用しました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
海・山などを自然とふれあえる体験の場として活用し、環境保全活動への参加意識の向上を図ります。	<p>《成果》</p> <p>教育委員会、宇佐美流域会議主催の水生物調査に協力しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>環境保全に対する参加者の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

②環境配慮行動の普及

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
消費者セミナーや、消費生活展示などを通し、環境にやさしい暮らしの情報の提供を図ります。	<p>《成果》</p> <p>消費者セミナーや消費生活展示の実施は無く、また、他のイベントにおいても、環境にやさしい暮らしの情報を提供する機会を設けることができませんでした。</p> <p>《評価》 目標以下</p> <p>環境にやさしい暮らしの情報を提供することができませんでした。</p> <p style="text-align: right;">【市民課】</p>
城ヶ崎海岸などの観光地や観光施設における啓発看板の設置など、観光客の環境配慮意識の向上を図ります。	<p>《成果》</p> <p>職員が継続的に城ヶ崎海岸などの環境美化を図りました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>観光客の自然保護意識の向上につながりました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
広報などによる環境にやさしい暮らしの情報提供に努めます。	<p>《成果》</p> <p>環境月間等に合わせ、広報紙を通じて、節電やごみの減量等環境負荷を抑える暮らしの呼びかけを行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>環境に優しい暮らしの情報提供を行うことができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
マイカー通勤者の協力を得て、ノーカーデーの普及等を図り、過度の自動車利用の抑止や徒歩・自転車利用等の推奨による、環境にやさしい暮らしの普及に努めます。	<p>《成果》</p> <p>ノーカーデーの前日に庁内放送による周知を行いました。</p> <p>《評価》 目標以下</p> <p>職員に対する周知を行いましたが、浸透は不十分でした。今後、新たな意識向上策を検討します。</p> <p style="text-align: right;">【行政経営課・環境課】</p>

③行政の環境配慮率先行動の推進

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
各種事業施工に際しては、自然型工法による環境整備を進めます。	<p>《成果》</p> <p>雨水の自然浸透に配慮した透水性舗装を採用しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>雨水流出の分散に効果がありました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
伊東市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、市自らが率先して温室効果ガスの削減や省エネルギー行動に努めます。	<p>《成果》</p> <p>市自らが省エネルギー行動に努めたことにより、温室効果ガスの排出量を削減することができました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>平成 24 年度は、実行計画の基準年度である平成 11 年度と比較し、温室効果ガスの排出量を 12.2%削減し、目標である 6%の削減を達成しました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>建設現場において、排出ガス対策が施された重機の使用を優先しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>環境に対する意識が向上しました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>
二酸化炭素の吸収源として、緑地の保全を図るとともに緑化を推進します。	<p>《成果》</p> <p>緑の募金運動に参加し、市内小中及び高等学校と連携し、学校施設内の緑化を図ることができました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>県緑化推進協会の活動に参加し、市内の緑化の推進を図りました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>
省エネルギーを推進し、自然を活用する等の新エネルギー導入を検討します。	<p>《成果》</p> <p>市有施設の高効率照明への買い替えや設備の運転方法の変更を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>省エネルギー化を推進しました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>
	<p>《成果》</p> <p>伊東市民病院の整備に当たり、将来的に太陽光発電パネルを設置できるスペースを屋上に確保しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>自然を活用する等の新エネルギー導入を検討しました。</p> <p style="text-align: right;">【健康医療課】</p>

施策の方針	平成 24 年度の成果及び評価
<p>市自らが率先してごみの減量・再資源化に努めるとともに、事務用品等は、再生品を積極的に使用します。</p>	<p>《成果》</p> <p>燃えるごみの焼却・売却の分別、ペットボトル・ダンボール等の再資源化に努め、燃えないごみのアルミ缶・スチール缶等の分別を行いました。平成 17 年度からは発生するごみの量を計量し、地下ストックヤードでの 23 年度実績が 2,714kg、24 年度実績が 3,284kg で、570kg、約 21%の増量となりました。また、コピー等は両面印刷を推進するとともに、各課の使用枚数を管理しました。</p> <p>物品調達については「伊東市役所温暖化対策実行計画」に基づき、環境にやさしい物品の購入に配慮しました。引き続き、環境配慮型トナーカートリッジの単価契約を行い、再生品の購入を推進しました。</p> <p>《評価》目標以下</p> <p>分別回収ができました。ごみの減量化は達成できませんでした。増量の原因としては、本年度からシュレッターごみが燃えるごみとして扱われるようになったことが考えられます。また、コピー等の両面印刷の推進を図りました。</p> <p>消耗品にもエコマーク・グリーン購入法適合物品を購入しました。</p> <p style="text-align: right;">【庶務課】</p>